

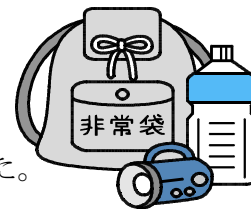


# いいおっ子

旭市立飯岡小学校  
学校だより No.9  
H30.7.11

## ◆◆◆校内授業研究会◆◆◆

本校は、一昨年度から学校全体で防災教育に取り組んでいます。  
本年度は、以下のような研究主題・研究の目標を掲げスタートしました。



### 研究主題

「自他の命を守り、ともに生きる力を育む防災教育」 ～実践・発信・伝承～

### 研究の目標

- ①災害時における危険を認識し、日常的な訓練等を生かして、自他の安全を確保することができるようにする。
- ②自他の生命を尊重し、災害時及び発生後に、他の人や集団、地域の安全に役立つことができるようにする。
- ③地域の一員として、過去の災害について理解し、生命を守るための方法や先人の努力について、受け継いでいくことができるようにする。

7月4日（水）に千葉科学大学 船倉 武夫 教授、旭市教育委員会 高瀬 健太郎 指導主事を講師に迎え、校内授業研究会を行いました。

2年2組（国語）と6年2組（家庭）の2学級が授業を展開し、2名の講師から御指導をいただきました。

【2年2組 国語 授業者 高木 章 教諭】

### 「たんけんしたことをつたえよう」



東日本大震災で被害に遭った方々の話を聞いて、メモを取り、報告文を書きました。児童が7年前の震災について知り得たことを他の人にも伝えたいという思いを表現できるようにしました。

東日本大震災の津波の被害を受けた飯岡に住む児童にとって、自分で危険から身を守る防災意識を高めることは大切なことです。報告文に書いていく中で地震や津波からどのように身を守ればよいかを考えさせ、防災に対する意識を高めていくことができました。

【6年2組 家庭 授業者 塩田 華恵 教諭】

### 「防災調理にチャレンジ！」

災害時の食生活について考え、日常の食生活に必要な基礎的な知識や調理技術を生かして防災調理を経験しました。そして、節水の仕方を工夫することで、災害時の生活をよりよくする能力と実践的な力を育てることにつながりました。学習を通して、災害時の様子を知り、それに伴った食生活を考えるとともに、節水の重要性や災害時でも工夫することで充実した食生活になることに気付くことができました。



### ※洗い物が少ない料理

「カレー」

- ・ポリ袋に入れて、同時に作ることができます。
- ・鍋を汚さないなので、節水につながります。



講師からは、「防災教育に取り組むことの意義」「児童の学習に対する姿勢がよい」「目標は達成できていた」等、お褒めの言葉をいただきました。また、今後の課題も示されましたので、さらに研究を深めていきたいと思えます。

### ◇◆◇バザー◇◆◇

7月7日（土）授業参観・保護者会後に、毎年恒例の「バザー&縁日」が開催されました。

保護者の皆様、地域の方々からたくさんのお品物を御提供いただき、当日は大勢の方においでいただきました。

文化部主催の縁日も大盛況で、「ストラックアウト」や「ジュースコーナー」には長蛇の列ができていました。



**収益金 73,725円**

御協力ありがとうございました。有効に使わせていただきます。

